

自分の跳んでいる姿（動画）を見て、技能の向上を図る

第6学年 体育 陸上運動「ハードル走」 学習アプリ「ロイロノート」

●単元の目標

1台目の入り方、踏み切りから空中姿勢、ハードル間のリズム（3歩のリズム）の3観点（ポイント）をおさえながら、ハードルを走りこすことができる。

友達のアドバイスを生かしながら自分に合った場を選んで、練習することができる。

関心・意欲・態度

- ・ハードル走に興味・関心を持ち、進んで練習に取り組もうとしている。

思考・判断

- ・自分に合った場を選んで、友達と教え合いながら練習している。

技能

- ・ハードルの1台目にむかってスピードを上げて、跳び越すことができている。
- ・ハードルの遠くから踏み切り、空中姿勢に気をつけながら跳び越すことができている。
- ・ハードル間を3歩のリズムで走ることができている。

●めあて

ポイントを考えながら練習して、ハードル走の記録に挑戦しよう。

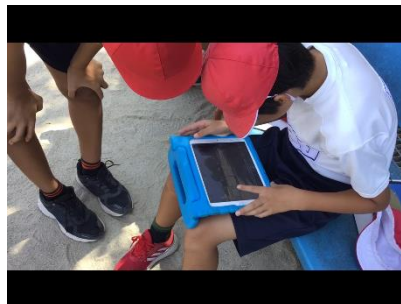
●学習の様子



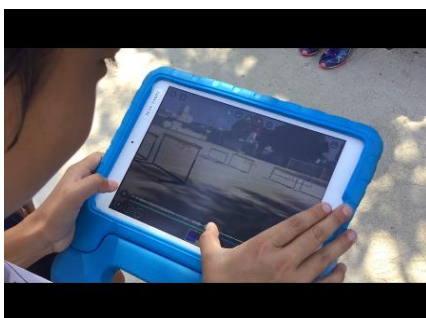
お互いにタブレットで撮り合う



いい跳び方を全体で共有し、いいところや参考になるところを見つける。



跳んでいる姿を確認する



お互いに教え合う



●児童の振り返り

- 自分の跳んでいる姿を動画で見ることができ、できているところ、できていないところがよくわかりました。
- 動画をあることで、友達によさを見つけ、アドバイスにも生かしました。

●授業を通して

- タブレット動画を活用したことで、自分の動きや友達の動きがわかり、ポイントを伝え合うことができた。
- ▲自分が撮ってほしい場面をしっかり伝えれば、さらにポイントを意識した活用になることがわかった。